

第5回環境市民会議ワークショップについて

今回は、これまでのワークショップで出された「市民、事業者の行動方針」の案を、より具体的な形にしていきます。

今回も前回同様に、限られた時間の中で、できる限り深く議論をいただくため、前半は「廃棄物分野」「地球環境分野」「自然環境分野」から1分野、後半は「生活環境分野」「協働の推進・環境学習分野①」「協働の推進・環境学習分野②」から1分野を選択の上、ワークショップにご参加ください。

なお、分野ごとの人数によっては、他分野に移動いただく可能性がありますので、ご了承くださいますようお願いいたします。

ワークショップの手順

①難易度の区分

これまでのワークショップで出された市民、事業者の環境行動方針案（表1～表6）の中から、今後10年間で取り組むプロジェクトを選定します。

各分野から、効果が高く、市民・事業者が主体となって取り組めるものを3つ程選定してください。

②プロジェクトの取組内容の検討

①で選んだプロジェクトを進めていくための方法を表7のワークシートを参考にして、話し合います。

【話し合う内容】

なぜ（Why）	なぜその取組を選んだのか、なぜのその取組が必要なのか、取組の目的などについて話し合います。 （例：環境が向上するとともに地域の交流が深まる）
誰が（Who）	その取組を誰がするのか、具体的に話し合います。 （例：職場、自治会）
いつ（When）	取組の時期や回数などについて話し合います。 （例：年〇回、通年）
なにを（What）	実行する取組を列挙します。 （例：自然観察会）
どこで（Where）	取り組む場所を話し合います。 （例：地区内のため池）
どのように（How）	具体的な取組方法を話し合います。